

お客様・地域との関わり

事業の中で蓄積してきた住まいに関する情報や、研究成果の公開を通じて消費者の快適な暮らしづくりをお手伝いすることは、私たちの基本的な社会貢献だと位置づけています。

また全国で事業を行う企業として、各地に公開施設を設けたり、暮らし方や趣味に関わるセミナーを企画して地域の皆様とコミュニケーションを持つことも、住宅産業ならではの社会的活動と捉えています。これらの活動を全国にある事業所をはじめ、工場に併設する「住まいの夢工場」や「納得工房」などの体験型施設、「住まいの図書館」などを拠点として推進しています。また、大学、小中学校などのカリキュラムの一環として自社施設を講習のために開放したり、NPO「西山記念文庫」など多くの研究者と連携して住まいに関する学術研究の発展に寄与したいと考えています。

このように、本業を介した一連の活動の中で、企業が社会の一員であるということを多くの従業員が認識することが大切だと考えています。

従業員のボランティア活動

本社では、8月より使用済み切手、プリペイドカードの収集を始め、集まった約2万7千枚を海外で医療活動を行うNPOに提供しました。また、未使用のカレンダーなど(563点)を災害地緑化に取り組むNPOの年始のバザーに持参するなど、ボランティア活動への参加で従業員の意識向上を図っています。

「住まいの夢工場」のリニューアル

納得のいく家づくりをしていただくために、全国6工場のうち5工場に体験型施設「住まいの夢工場」を開設しています。より現実的に、かつ楽しみながら住まいに関するさまざまな性能を体感していくだけるよう、2003年度には関東工場の「夢工場」の大規模リニューアルを行いました。地震体験を目的とした「IN THE DARK」や、よりわかりやすく防犯の必要性を感じていただくための「なるほど予知防犯館」の新設、「構造技術館」と「快適性能館」のリファインを行いました。



振動と映像と闇で地震の怖さを体験し、地震への備えの大切さをお伝えする施設「IN THE DARK」

「すまい塾」の開催

積水ハウスの総合住宅研究所「納得工房」では、これから家づくりを計画されている方、また住まいに関心の高い方のために、学習講座「すまい塾」を開催しています。当社の一級建築士や設計士、インテリアコーディネーターなど、さまざまな分野の専門家を講師に、住まいづくりの基本から納得のいく家づくりのポイントなど、住まいの総合的な知識を学んでいただけます。講座の修了後に開かれる卒業作品展では、毎回個性的でユニークな作品が多く見られます。



すまい塾こだわり講座(2003年度は85名が参加)

すまい・まちづくりフォーラム関西21への協賛

当社では、NPO法人西山卯三記念 すまい・まちづくり文庫に協力し、建築学者で京都大学名誉教授の故西山卯三氏が生涯にわたり収集・創作した研究資料約10万点を当社総合研究所の納得工房内にある文庫スペースで公開しています。同NPOが2003年に開催した「第7回すまい・まちづくりフォーラム関西21」にも協賛しました。このフォーラムでは「持続可能な社会のくらしとすまい」をテーマに建築家の方々から、暮らしと住まいのデザインや先進的な事例の紹介、環境理論に根差したデザイン思想のお話がありました。2003年度に開催したフォーラムには延べ348名の参加がありました。

住民参加の街づくりで地域を活性化

当社が開発する「西宮マリナパークシティ」では、住民参加の花の街づくりが進められてきました。街の植栽管理に住民の方に参加していただくことで、コミュニティの活性化につなげようという取り組みです。ここでは日常の植栽の手入れを、関連会社エスジーエム・オペレーション(株)がバックアップしながら、住民で構成する「フラワーサークル」が隨時行っています。植栽活動を通して住民同士のつながりが深まり、豊かなコミュニティが形成されています。当社では、住まいをお客様にお引渡しした後も継続的にお客様と関わりを持ちつづけることが大切であると考え、地域づくりを積極的にサポートしています。



花のまちフラワーサークルの方々